

岩手県下水道被害調査報告

(財)下水道新技術推進機構
調査日：2011/03/19～24

調査地域：岩手県一関市、陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市

1. 内陸部調査

一関市(中心部流域関連、特環の花泉処理区、大原処理区)、遠野市、住田町を調査

内陸部は、MH隆起・浮上、道路陥没が一部見られるが、大規模な液状化は見受けられない。



2. 沿岸部調査

(1) 陸前高田市



①陸前高田市の市街地(被害大)



②陸前高田市の高台(竹駒小、浄化槽)

気仙川を津波が遡上して、住田町に近い上流(約15km西宿)まで漂着物あり。

陸前高田市街は、津波により沿岸部は壊滅、がれきの山。

高台では下水道は未普及または建設中(西和野地区等)。

発生汚水は住田町へ受け入れ打診。

(2) 大船渡市



大船渡浄化センター
(終沈、機電破損、土木被害なし)



大船渡市街(沿岸部以外は被害小)



大船渡浄化センター(建築)



大船渡市沿岸部の被災状況

碁石海岸線(ほそうら、末崎～碁石岬)付近では、下水道整備の目視確認できず。

大船渡駅～盛駅付近の沿岸部では、津波被害大だが、盛駅より高い地域は被害が見られず、市街地汚水の発生が見込まれる。

大船渡浄化センターは、津波被害のみで、土木は破損なし、建築は材木等により一部破損、機電はかなり破損。反応槽等の海水を水中ポンプで排出作業、材木等を除去作業中。

汚水は管内貯留状態で、流入ポンプは電動機入れ替えで稼働可となった。簡易処理が可能になると思われる。

(3) 釜石市



釜石市大平浄化センター(エアタン、終沈)



釜石市水管橋の破損



釜石市大平浄化センター(管理棟、初沈)
管理棟2Fを使用している

市街地は沿岸部は津波被害があるが、高台の部分は被害が少ない。
大平処理場は池に車両等粗大な漂着物が多数あり。管理棟2Fは作業可能。
水管橋は上流側1スパンのみ残存、2スパンが落橋、河床と岸に漂着している。

(4) 大槌町



大槌町市街(壊滅状態)

津波被害により、沿岸部広範囲で壊滅状態

(5) 山田町



山田町市街(壊滅状態)

津波被害により、山田処理区は沿岸部は壊滅状態。

船越処理区ではピュアクリエイト船越(船越処理区の処理場)は視認。

(6) 宮古市



宮古市街(宮古処理区)被害小



宮古市街(田老処理区)被害大



田老浄化センター(田老処理区、嫌気好気ろ床)

宮古処理区市街は、漂着物はあるが、道路交通・市民生活あり、マンホール視認。

田老処理区市街は、津波被害大で、マンホールの視認も難。

田老浄化センターは、嫌気好気ろ床が建物に入っている。建築は大きな破損なし、機電は冠水で被害。

総括

市街地の被災状況は、沿岸部は津波被害が甚大、高地部は被害少なく、汚水の発生が見込まれる。

処理場は、津波被害で、機電の破損、建築の一部破損が起こるが、土木は無事な場合が多い。

管きよは、沿岸部(津波被害)では、破損情報なし。内陸部で一部MH隆起、道路陥没あり。

津波被害時に、処理場に流入する汚水を、簡易処理・消毒して放流できる準備が望ましい。